

# 保証とアフターサービス (必ずお読みください)

## 保証書(別添)

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保存してください。

●保証期間は、お買い上げの日から1年です。

## 修理を依頼されるときは [出張修理]

「修理サービスを依頼する前に」(19ページ)に従って調べていただき、なお異常のあるときは、ご使用を中止し、必ず差込プラグを抜いてからお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

## ■連絡していただきたい内容

品名	日立蓄熱温風ヒーター
形名	VFT-2300
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	(できるだけ具体的に)
ご住所	(付近の目印等も併せてお知らせください)
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	

## ■保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。

## ■保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

## 補修用性能部品の最低保有期間

当社は、この蓄熱温風ヒーターの補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。

●補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

## 修理料金のしくみ

修理料金＝技術料＋部品代＋出張料です。


技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
出張料	商品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

## ご転居されるときは

ご転居によりお買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立の家電品取扱店を紹介させていただきます。

## ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店または別紙(黄色用紙)「ご相談窓口一覧表」の窓口にお問い合わせください。

<b>愛情点検</b> 	●長年ご使用の蓄熱温風ヒーターの点検を！ ●蓄熱温風ヒーターの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後6年です。	<b>お願い</b> 故障や事故防止のため、コンセントから差込プラグを抜いて販売店にご連絡ください。点検・修理についての費用など詳しいことは、販売店にご相談ください。
	ご使用の際このようなことはありませんか ●電源スイッチを入れても、時々運転しない時がある。 ●電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする。 ●運転中に異常な音や振動がする。 ●差込プラグ、電源コード、本体などが、異常に熱い。 ●こげ臭いにおいがする。 ●その他の異状や故障がある。	

株式会社 日立ホームテック 株式会社 日立製作所

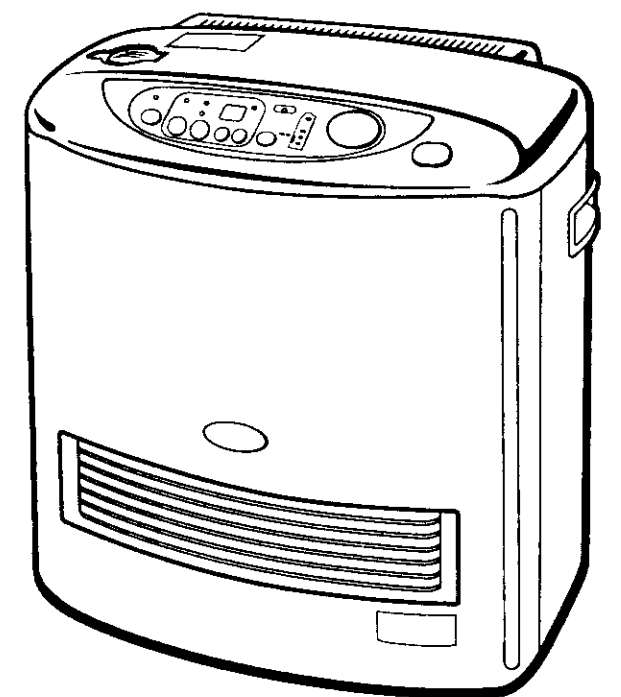
〒105 東京都港区西新橋2丁目15番12号 電話(03)3502-2111

取扱説

# 日立蓄熱温風ヒーター VFT-2300形 家庭用

## 目次

安全のため必ずお守りください	2・3
各部のなまえとはたらき	4・5
お使いになる前に	6・7
●運転の機能と特徴について	7
正しい使いかた	8～16
●暖房運転	8・9
●蓄熱	10・11
●入タイマー運転	12・13
●切タイマー運転	14・15
●スチームで加湿をするとき	16
お手入れと保管	17・18
仕様	18
修理サービスを依頼する前に	19
保証とアフターサービス	20



# 安全のため必ずお守りください

## 絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



**警告**

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



**注意**

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

## 絵表示の例



この記号は注意(危険・警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。



この記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。



この記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中や近傍に具体的な指示内容が描かれています。

<b>警告</b>	
<p>改造は絶対にしない。サービスマン以外の方は、分解したり修理しない。 (火災・感電・けがの原因)</p>	<p>スプレーなどの缶を本体の近くに置かない。 (爆発や火災の原因)</p>
<p>定格15A以上のコンセントを単独で使用する。テーブルタップの使用やタコ足配線はしない。 (他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火の原因)</p>	<p>吸排気口や温風吹出口などのすき間に、ピンや針金などの金属物等、異物を入れない。 (感電や異常動作してけがの原因)</p>
<p>乳幼児や自分で操作できないかなどが使用されるときは、特に注意する。 (やけどの恐れ)</p>	<p>電源コードを傷付けたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重い物を載せたり、挟み込んだりしない。 (電源コードが破損し、火災・感電の原因)</p>
<p>電源コードや差込プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。 (感電・ショート・発火の原因)</p>	<p>交流100V以外では使用しない。 (火災・感電の原因)</p> <p>船舶、自動車の直流電源や、200V電源で使用しないでください。</p>

<b>注意</b>	
<p>差込プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の差込プラグを持って抜く。 (感電やショートして発火の原因)</p>	<p>使用中や使用直後は、高温部[温風吹出口、排気口(蓄熱時)]に触れない。 (やけどの原因)</p>
<p>カーテンなど燃えやすいものの近くで使用しない。 (火災の恐れ)</p> <p>1m以上はなす</p>	<p>本体に水やお茶をこぼさない。 (過熱・感電の恐れ)</p>
<p>本体に衣類やふとんを掛けて使用しない。 (過熱や火災の原因)</p>	<p>スチーム運転中はスチーム口にさわったり、顔など近づけない。 (やけどの原因)</p>
<p>使用時以外は、差込プラグをコンセントから抜く。 (けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因)</p>	<p>犬や猫などのペットの暖房用には使用しない。 (ペットが本体やコードを傷め、火災の原因)</p>
	<p>乾燥等他の用途に使用しない。 (過熱して発火の原因)</p>

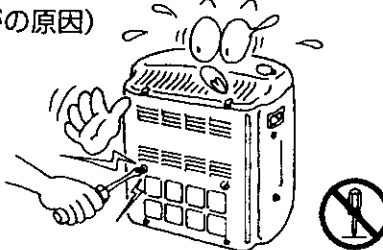
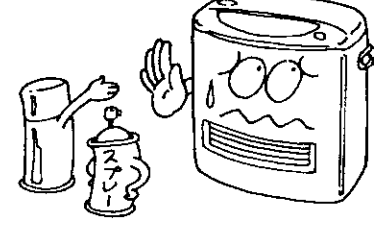
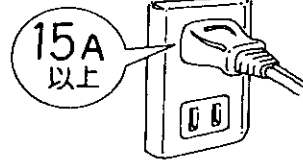
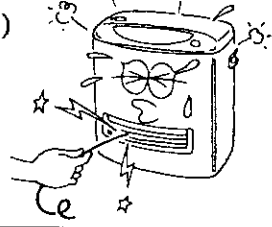
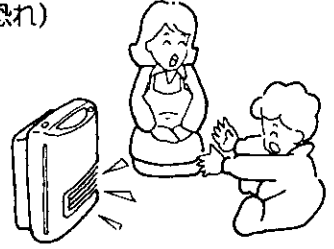
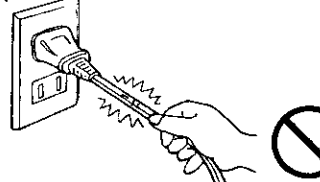
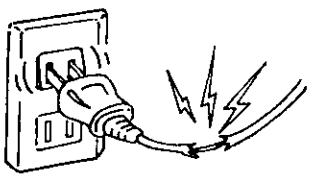
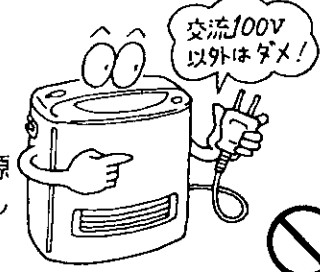
# 安全のため必ずお守りください

## 絵表示について


この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。


**警告** この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。


**注意** この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。


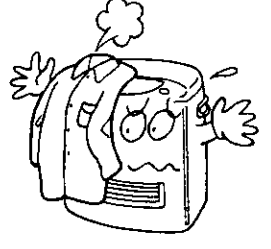

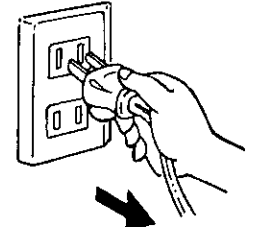

<b>警告</b>	
<p>改造は絶対にしない。サービスマン以外の方は、分解したり修理しない。 (火災・感電・けがの原因)</p> 	<p>スプレーなどの缶を本体の近くに置かない。 (爆発や火災の原因)</p> 
<p>定格15A以上のコンセントを単独で使用する。テーブルタップの使用やタコ足配線はしない。 (他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火の原因)</p> 	<p>吸排気口や温風吹出口などのすき間に、ピンや針金などの金属物等、異物を入れない。 (感電や異常動作してけがの原因)</p> 
<p>乳幼児や自分で操作できないかなどが使用されるときは、特に注意する。 (やけどの恐れ)</p> 	<p>電源コードを傷付けたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重い物を載せたり、挟み込んだりしない。 (電源コードが破損し、火災・感電の原因)</p> 
<p>電源コードや差込プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。 (感電・ショート・発火の原因)</p> 	<p>交流100V以外では使用しない。 (火災・感電の原因)</p> <p>船舶、自動車の直流電源や、200V電源で使用しないでください。</p> 

## 絵表示の例

 この記号は注意(危険・警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。

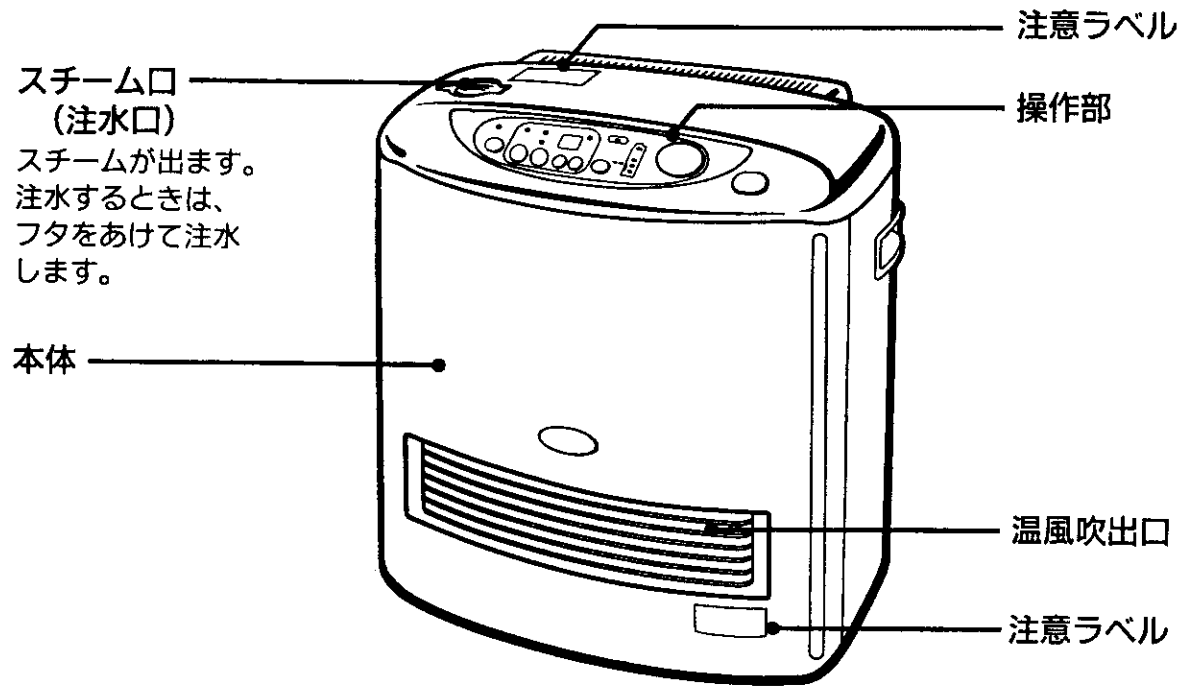
 この記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。

 この記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中や近傍に具体的な指示内容が描かれています。

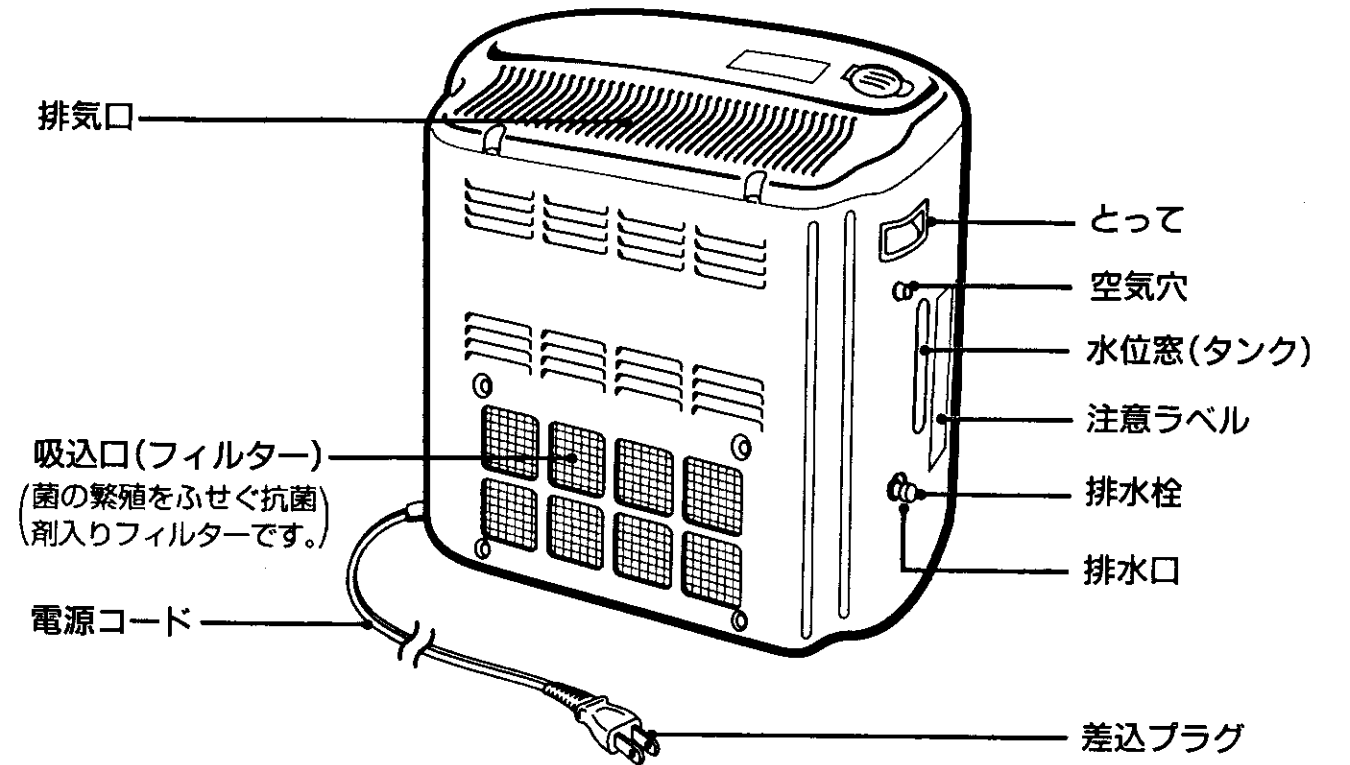
<b>注意</b>	
<p>差込プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の差込プラグを持って抜く。 (感電やショートして発火の原因)</p> 	<p>使用中や使用直後は、高温部[温風吹出口、排気口(蓄熱時)]に触れない。 (やけどの原因)</p> 
<p>カーテンなど燃えやすいものの近くで使用しない。 (火災の恐れ)</p>  <p>1m以上はなす</p>	<p>本体に水やお茶をこぼさない。 (過熱・感電の恐れ)</p> 
<p>本体に衣類やふとんを掛けて使用しない。 (過熱や火災の原因)</p> 	<p>スチーム運転中はスチーム口にさわったり、顔など近づけない。 (やけどの原因)</p> 
<p>使用時以外は、差込プラグをコンセントから抜く。 (けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因)</p> 	<p>犬や猫などのペットの暖房用には使用しない。 (ペットが本体やコードを傷め、火災の原因)</p> 
<p>乾燥等他の用途に使用しない。 (過熱して発火の原因)</p> 	

# 各部のなまえとはたらき

## 正面



## 背面



## 操作部

**デジタル表示 (例)**

おはようタイマー時刻 (30分単位)  
 おはよう  おかえり  
 7 30分

おかえりタイマー時刻 (30分単位)  
 おはよう  おかえり  
 8 30分

その他の表示  
 おはよう  おかえり  
 E2 30分

- ランプの点灯を示します。
- ランプ・表示の点滅を示します。

スチームランプ 入タイマーランプ (おはようランプ おかえりランプ) 暖房切換ランプ 蓄熱量ランプ

切タイマーランプ 30分ランプ ハイパワーランプ 運転ランプ

スチーム 2時間 おはよう おかえり 30分

スチーム 切タイマー 入タイマー すすむ もどる

ハイパワー 1320W 660W 強 弱 自動 蓄熱量

暖房 入/切(蓄熱) HITACHI VFT-2300

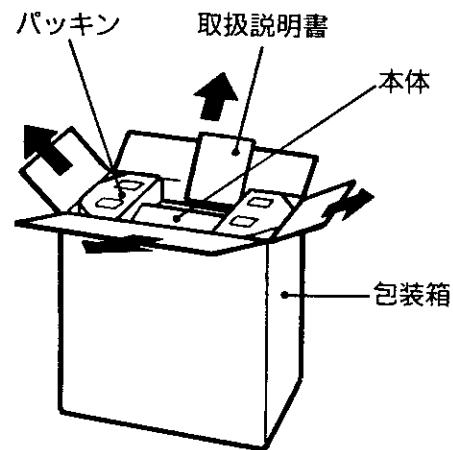
電源 入/切

スチームボタン 16ページ  
 切タイマーボタン 14~15ページ  
 入タイマーボタン (おはよう・おかえり) 13~16ページ  
 「すすむ」ボタン 13~15ページ  
 「もどる」ボタン 13~15ページ  
 暖房切換ボタン 8~16ページ  
 暖房運転ボタン 8~11ページ  
 電源ボタン 8~16ページ

# お使いになる前に

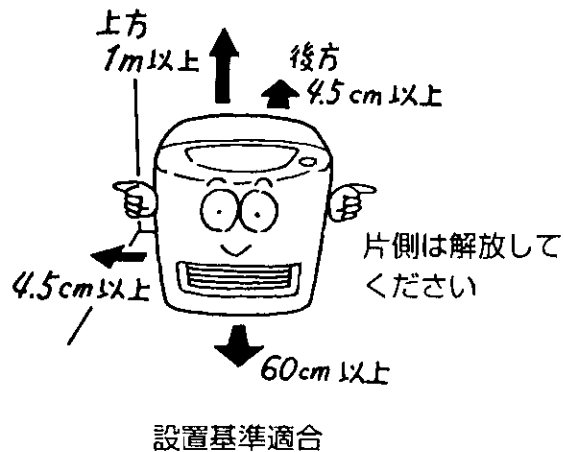
## 包装部品をはずし、本体を取り出す

- 各部の包装部品をすべて取り除きます。本体に貼ってあるテープをはがしてください。
- 包装箱、包装部品は、本体を保管するときに必要ですので保管してください。



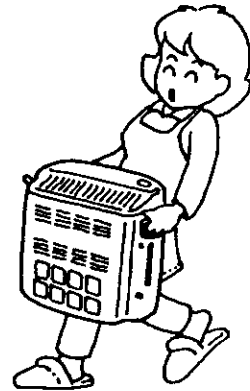
## 障害物や可燃物から十分離して

- 壁や家具に近づけすぎないようにしてください。壁や燃えやすい物から下図の距離を離してお使いください。ただし、左右面のどちらか一方は、壁や障害物で囲まれていない解放空間にしてください。
- 熱に弱いじゅうたんや床の上で使うと、温風の熱で色や形が変わることがあります。



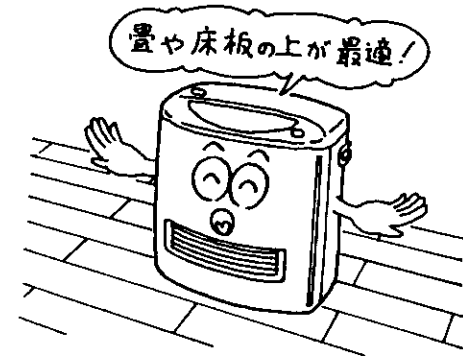
## 本体を移動する

- とってを持って、持ち上げて移動してください。引きずると畳や床面をキズつけることがあります。また本体は約14.2kgありますので持ち運びには十分注意してください。



## 平らなところに置く

- やわらかい物の上や、凸凹のあるところに置かないでください。不安定だと転倒や落下によるケガの原因になります。またスチームタンクから水がこぼれる原因になります。



## 腰をかけたり、物をのせない

- 本体上面に腰をかけたり物をのせたりしないでください。やけどや過熱の原因になります。

# 運転の機能と特長について

## オート蓄熱

### 電源ボタンを押す

### 自動的に蓄熱開始

暖房運転ボタンで温風と蓄熱を切り替え、温風を止めると自動的に蓄熱します。

## 温風暖房したいとき

### 自動運転

室温が約20°Cになるように、自動的にコントロールします。

### 強運転

室温に関係なく強・弱運転をします。

8ページ

### 弱運転

### ハイパワー暖房運転

暖房開始とともに蓄えた熱が加わった暖房運転で、お部屋を急速に暖めます。

9~15ページ

## 便利な機能

### 蓄熱

蓄熱することで蓄えた熱を暖房開始とともに放熱し **ハイパワー暖房運転** ができます。

※省エネ蓄熱…3時間以上蓄熱を続けると、自動的に省エネ蓄熱となり、消費電力を抑えます。

10~11ページ

### 入タイマー:おはよう

設定した時刻までに蓄熱を完了し、暖房開始とともに **ハイパワー暖房運転** でお部屋を暖めます。

12~15ページ

### 入タイマー:おかえり

設定した時刻までに蓄熱を完了し、暖房運転ボタンを押すと

**ハイパワー暖房運転** ができる状態で待機します。

12~15ページ

### 切タイマー(2時間後切)

設定すると2時間後、自動的に暖房運転を停止します。「おはよう」「おかえり」タイマーと併用して使うこともできます。

14~15ページ

### スチーム

暖房運転時のお部屋にスチームを発生し、空気の乾燥をおさえます。

16ページ

### 消し忘れ防止

暖房開始8時間後または蓄熱開始8時間後、全ての運転を停止し、蓄熱量ランプと暖房切替ランプ(自動ランプ)の点滅でお知らせします。(途中にボタン操作のない場合)

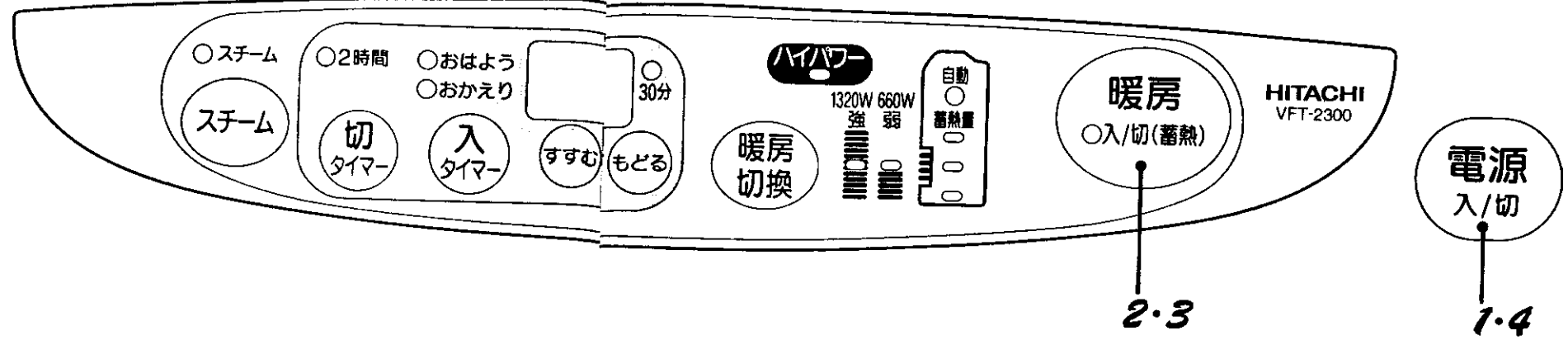
9, 11, 13, 15ページ

# 正しい使いかた

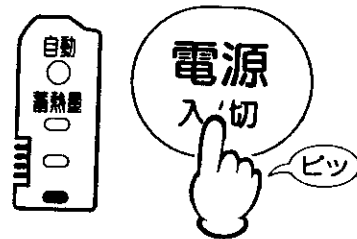
…→(つづく)

## 暖房運転

**自動** **弱** **強** の暖房運転ができます。  
蓄熱してあるときは、蓄えた熱の放熱が加わった **ハイパワー暖房運転** となり、ハイパワーランプの点灯で **ハイパワー暖房運転** をお知らせします。

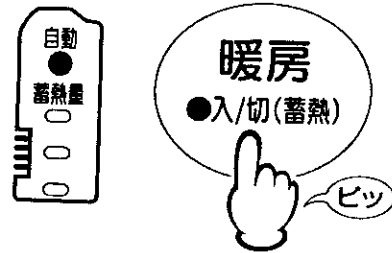


**1** 差込プラグをコンセントに差し込み  
電源ボタンを押し、「入」にする



- 蓄熱量ランプが点灯し、自動的に蓄熱を開始します。

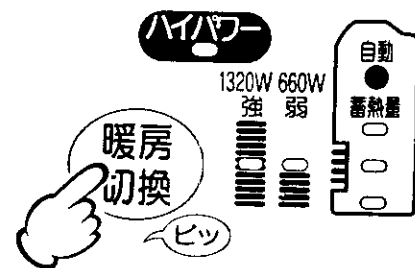
**2** 暖房運転ボタンを押し、暖房運転にする



- 運転ランプが点灯します。暖房切換ランプが点滅し、約15秒間予熱をおこなったあと温風が出ます。
- 温風が出ると暖房切換ランプは点灯にかわります。
- 運転開始直後温風温度が低い場合がありますが、すぐに温風温度は高くなります。
- 暖房切換ボタンを押しても、暖房運転できます。
- 差込プラグをコンセントに差し込んだときは「自動」にて暖房運転を始めます。

お好みの暖房運転にしたいとき

暖房切換ボタンを押し、お好みの暖房にする



暖房運転切換  
強 ← 弱 ← 自動

- 暖房切換ボタンを押すたびに矢印の順序でランプが変わり、差込プラグを抜くまでその運転を記憶しています。
- 「自動」…室温が約20℃になるように自動的にコントロールします。
- 「強」…ヒーター消費電力約1320W
- 「弱」…ヒーター消費電力約660Wで暖房します。

**3** 暖房運転のみ停止するとき

- 暖房運転ボタンを押し、切(蓄熱)にする。



- 運転ランプが消え、暖房運転を停止します。自動的に蓄熱を開始します。

**4** 暖房運転も蓄熱も停止するとき  
電源ボタンを押し、「切」にする



ハイパワー暖房運転

- ある程度の蓄熱量がたまっている場合は、蓄えた熱の加わった **ハイパワー暖房運転** をします。
- ハイパワー暖房運転中は、ハイパワーランプの点灯で暖房中であることを表示します。



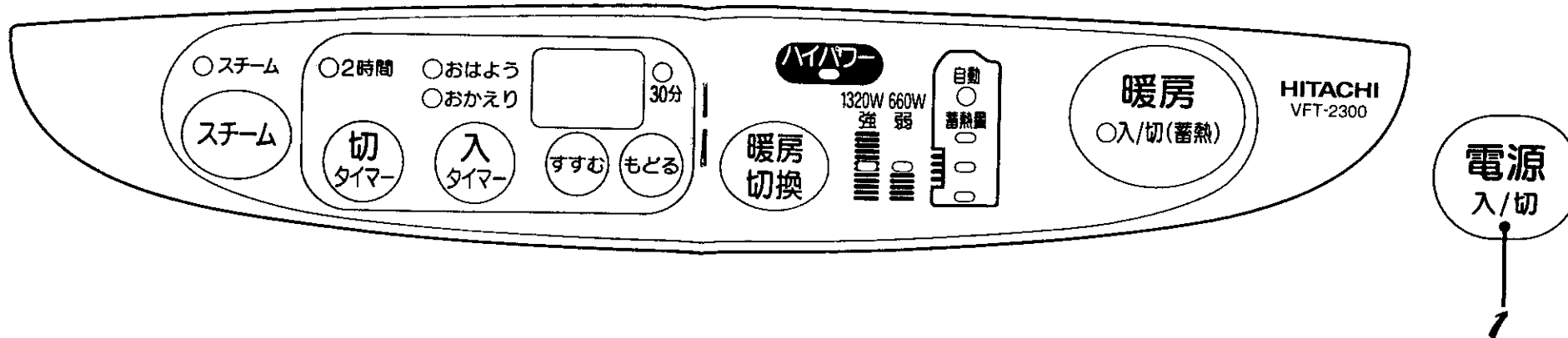
●外気温や部屋の広さによっては自動運転の暖房をしていても室温が設定温度にならないときがあります。

●電源ボタンが「入」の状態では差込プラグを差し込むと、停電時安全装置が作動し「E1」の表示が出ます。電源ボタンを「切」にしてからセットしなおしてください。

●消し忘れ防止のため、暖房運転開始から8時間、ボタン操作がないときは、すべての運転を停止し、蓄熱量ランプと暖房切換ランプ(自動ランプ)の点滅でお知らせします。再度運転をするときは、電源ボタンを「切」にしてからセットしなおしてください。

## 蓄熱

蓄熱することで蓄えた熱を加えた  
**ハイパワー暖房運転**ができます。  
寒いときや速くお部屋を暖めたい  
ときに効果的です。



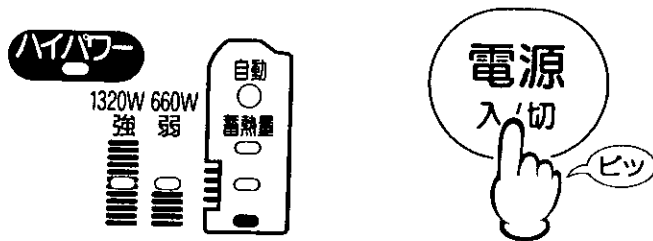
### 蓄熱量の目安

ランプ表示	蓄熱量
	約0~40%
	約40~70%
	約70~100%

- 蓄熱は約1時間で完了し、保温状態になります。蓄熱量ランプが3個点灯します。

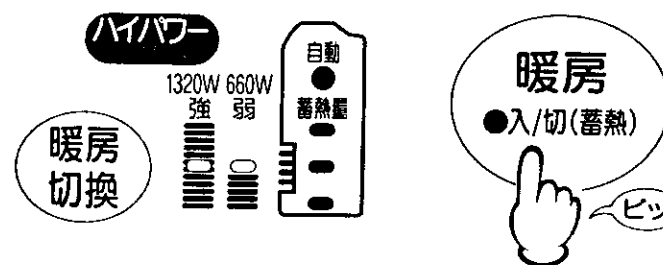
### オート蓄熱

差込プラグをコンセントに差し込み  
電源ボタンを押し、「入」にする



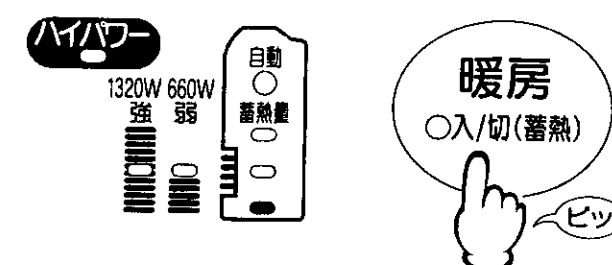
- 蓄熱量ランプが点灯し、自動的に蓄熱を開始します。
- 蓄熱量がある程度たまると、蓄えた熱の加わった**ハイパワー暖房運転**ができます。
- 3時間以上蓄熱を続けると自動的に省エネ蓄熱になり、蓄熱量を抑えて消費電力量を抑えます。省エネ蓄熱中は、蓄熱量ランプは2個の点灯になります。

ハイパワー暖房運転をするときは  
暖房運転ボタンを押す



- ハイパワーランプが点灯し**ハイパワー暖房運転**をします。
- ハイパワー暖房運転**を始めると、蓄熱量ランプは順次消灯します。
- 暖房切換ボタンを押しても、暖房運転ができます。
- 暖房運転も蓄熱も停止するときは、電源ボタンを押して「切」にする。

暖房運転中に再度蓄熱するとき  
暖房運転ボタン



- 蓄熱量ランプが点灯し、暖房運転を停止して、蓄熱を開始します。



●ハイパワー運転中は、蓄熱量の変化に応じて送風量が変わります。

●蓄熱が完了しても電源ボタンを「切」にすると、自然放熱により蓄熱量は徐々に減少していきます。

●**消し忘れ防止**のため、蓄熱開始8時間後全ての運転を停止し、蓄熱量ランプと暖房切換ランプ(自動ランプ)の点滅でお知らせします。再度運転するときは、電源ボタンを「切」にしてからセットしなおしてください。

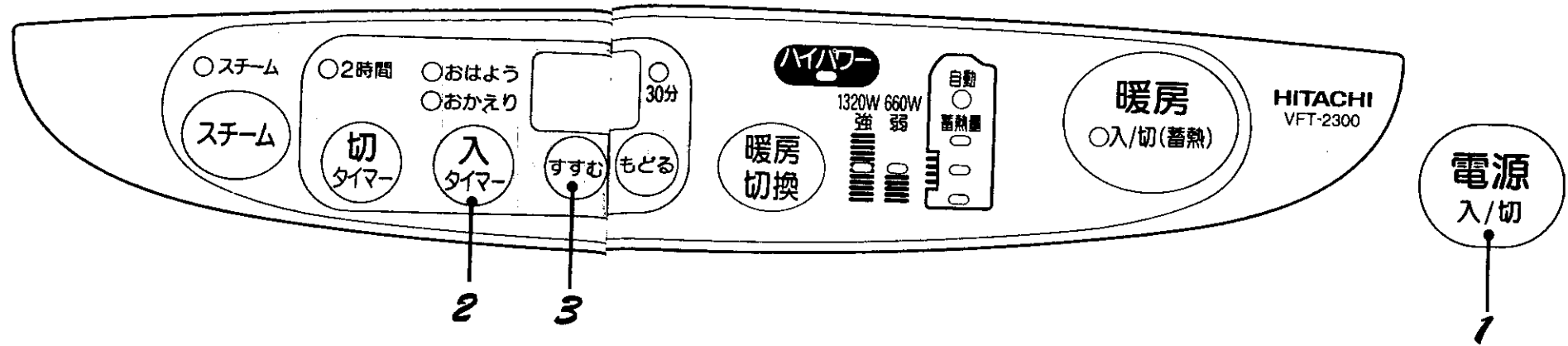
# 入タイマー運転

## 「おはようタイマー」

お目覚めのときにはお部屋が快適な暖かさになる様に、設定時刻の約1時間前から蓄熱を始め、自動的に **ハイパワー暖房運転** を開始します。

## 「おかえりタイマー」

帰宅時など、暖房運転ボタンを押すと **ハイパワー暖房運転** ができる様に保温状態で待機します。



### 1 電源ボタンを押し、「入」にする



- 蓄熱量ランプが点灯し、自動的に蓄熱を開始します。

### 2 入タイマーボタンを押し、「おはよう」または「おかえり」を選ぶ

おはようを選んだとき

- おはよう
- おかえり



- おはようランプが点灯します。
- 選択したランプが点灯し、デジタル表示部にタイマー時間「8」が表示されます。
- 2度目からは前回設定された時刻が記憶され、記憶された時刻まで残り時間がデジタル表示部に表示されます。(差込プラグを抜かない限り、設定した時刻は記憶されています)
- 暖房切換ボタンでお好みの暖房にします。

おかえりを選んだとき

- おはよう
- おかえり



- おかえりランプが点灯します。
- 消し忘れ防止のため、暖房開始2時間後全ての運転を停止し、蓄熱量ランプと暖房切換ランプ(自動ランプ)の点滅でお知らせします。(入タイマー:おはよう)

### 3 「もどる」「すすむ」ボタンを押し、時間を設定する。

- 現在の時刻から暖房を開始する時刻までの時間を合わせます。
- セットできる時間は30分～24時間までの間で30分単位です。
- 時間の経過とともに、設定した時刻までの残り時間をデジタル表示部に表示します。
- 1時間以内にセットすると **ハイパワー暖房運転** ができない場合があります。

例 (おはようタイマーで8時間30分後、自動的に **ハイパワー暖房運転** を開始したい場合)

- おはよう
- おかえり

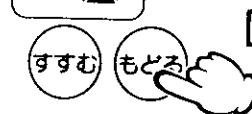


8時間30分後

蓄熱の加わった **ハイパワー暖房運転** を自動的に開始します。

例 (おかえりタイマーで、10時間後帰宅予定の場合)

- おはよう
- おかえり



10時間後 (帰宅後)

暖房運転ボタンを押すと、蓄熱の加わった **ハイパワー暖房運転** ができます。

「おはよう」「おかえり」入タイマーを解除するとき

- おはよう
- おかえり



- 入タイマーボタンを押し、タイマーランプが消えた状態にします。

- 消し忘れ防止のため、蓄熱開始8時間後全ての運転を停止し、蓄熱量ランプと暖房切換ランプ(自動ランプ)の点滅でお知らせします。(入タイマー:おかえり)

- 消し忘れ防止がはたらいたあとに再度運転するときは、電源ボタンを「切」にしてからセットしなおしてください。



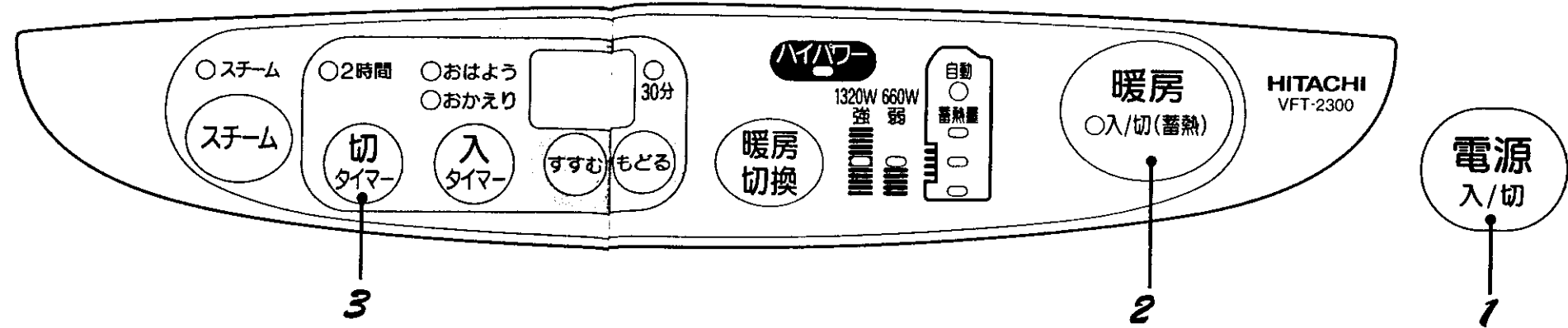
- 入タイマー:おはようで暖房運転をしているときは、2時間経過すると自動的に停止しますので、切タイマーランプが点灯しています。



# 切タイマー運転(2時間後切)

2時間が経過すると自動的に暖房運転を停止します。

「切タイマー運転」と「入タイマー運転」を併用して冷えたお部屋を効率よく暖めることができます。



**1** 電源ボタンを押し、「入」にする



- 蓄熱量ランプが点灯し、自動的に蓄熱を開始します。

**2** 暖房運転ボタンを押し、暖房運転にする



- 運転ランプが点灯して、暖房切換ランプが点滅し、約15秒間予熱をおこなったあと温風が出ます。
- 暖房切換ボタンでお好みの暖房にします。

**3** 切タイマーボタンを押す

●2時間



- 切タイマーランプが点灯し、2時間後に暖房が停止し、蓄熱ランプと暖房切換ランプが点滅します。

## 「おはよう」または「おかえり」を併用するとき

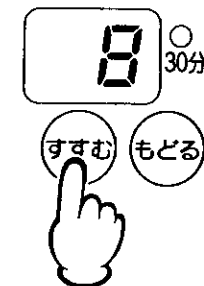
①入タイマーボタンで「おはよう」または「おかえり」を選ぶ。

- おはよう
- おかえり



- 選択したランプが点灯し、デジタル表示部にタイマー時間が表示されます。

②「もどる」「すすむ」ボタンを押し時間を設定する。



- 現在の時刻から暖房を開始する時刻までの時間を合わせます。
- セットできる時間は30分～24時間までの間で30分単位です。
- 時間の経過とともに、設定した時刻までの残り時間をデジタル表示部に表示します。
- 3時間以内にセットすると **ハイパワー暖房運転** ができない場合があります。

## 切タイマーを解除するとき

- 切タイマーボタンを再度押します。

## 「おはよう」「おかえり」入タイマーを解除するとき

- 入タイマーボタンを押し、ランプを消灯させます。

## 停止するとき

- 電源ボタンを押し「切」にする。



- タイマー運転で休止中であっても、切タイマー運転のセットで暖房運転をすることができます。
- おはようタイマーとおかえりタイマーの同時セットはできません。

- 消し忘れ防止のため、暖房開始2時間後全ての運転を停止し、蓄熱量ランプと暖房切換ランプ(自動ランプ)の点滅でお知らせします。(入タイマー:おはよう、切タイマーのみの設定)

- 消し忘れ防止のため、蓄熱開始8時間後全ての運転を停止し、蓄熱量ランプと暖房切換ランプ(自動ランプ)の点滅でお知らせします。(入タイマー:おかえり)

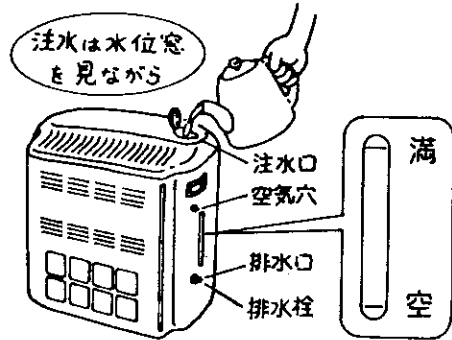
- 消し忘れ防止がはたらいたあとに再度運転するときは、電源ボタンを「切」にしてからセットしなおしてください。

…→正しい使いかた (つづき)

## スチームで加湿をするとき 暖房運転中の空気の乾燥をおさえます。

排水栓が確実に閉まっていることを確認してから

### 1 注水口のフタをあけて注水する



- 「満」以上に水を入れないでください。空気穴から水があふれ出ることがあります。

タンクに水がなくなったら 自動的にスチーム運転を停止します。

- スチームランプが点灯から点滅に変わり、注水をお知らせします。
- 注水するときは電源ボタンを「切」にして、本体が冷えてからおこなってください。

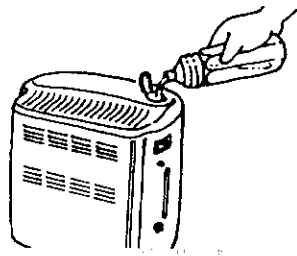


- 暖房運転のときのみ加湿できます。ただし、タイマーを設定する前からスチーム運転していた場合は、暖房運転の開始と同時にスチーム運転します。
- タンク「満水」で約7時間スチーム運転ができます。

## お願い

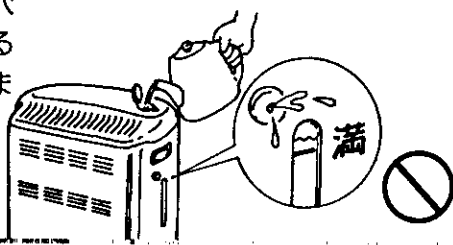
タンクには水道水以外は入れないこと

目づまりなどで、故障の原因になります。

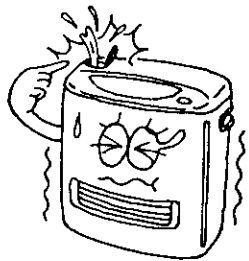


タンクの「満」位置以上に注水しないこと

側面の空気穴からあふれることがあります。

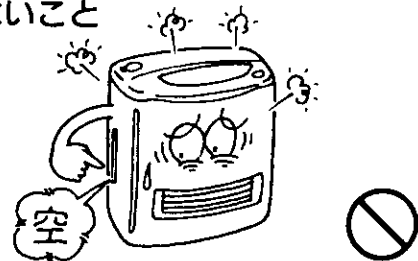


注水口のフタは、しめて使うこと



スチーム発生装置のタンク水位は、「空」

以下で使わないこと  
空だき状態となり故障の原因になります。



### ●スチーム



- スチームランプが点灯し、数分後スチームが出はじめます。
- スチームを止めたいときは、再度スチームボタンを押してください。スチームランプが消灯します。

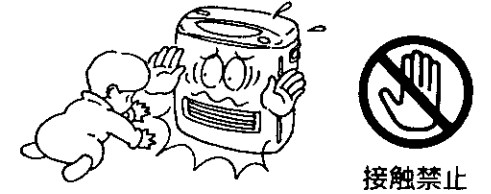
# お手入れと保管

## お手入れのしかた

### ⚠注意

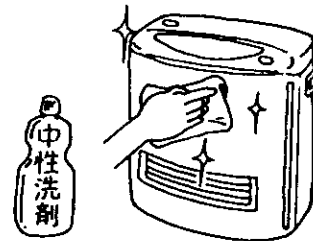
使用直後は、高温部（温風吹出口、排気口(蓄熱時)）に触れないこと

やけどの原因になります。お手入れの前に電源ボタンを「切」にして、差込プラグをコンセントから抜いて、本体が冷えてから行ってください。

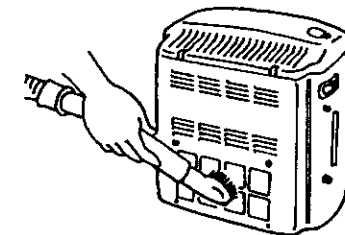


## 日常のお手入れ

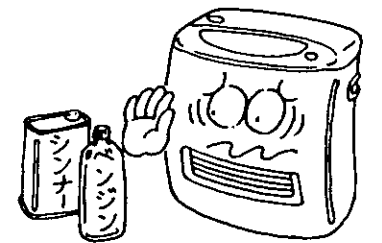
乾いたやわらかい布で本体を軽くふいてください。汚れがひどいときは、中性洗剤をうすめ、布につけてふきとります。



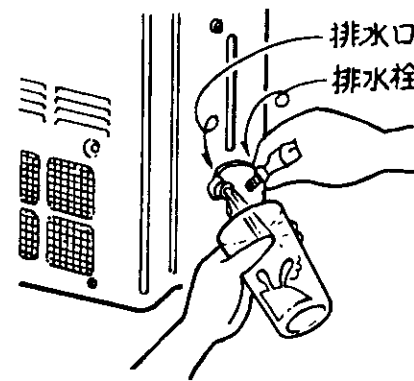
吸込口(フィルター)は、掃除機でほこりを吸いとります。



シンナーなどの溶剤は、本体をいためますので絶対に使わないでください。



## 週に1回のお手入れ スチーム発生装置



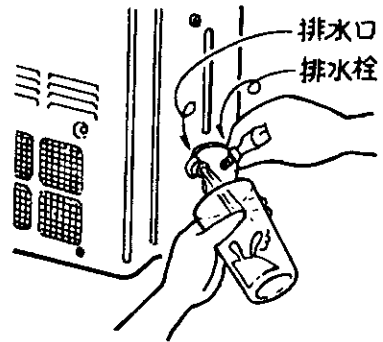
- スチーム運転の直後は熱湯がとび出すことがありますので、必ず本体が冷えてから行ってください。
- 排水口を器で受け、排水栓を抜いて残りの水を出してください。
- 新しい水道水を注水口から入れ、中をすすいでください。
- お手入れの後はかならず排水栓を排水口に根元まで差し込んでください。

→ お手入れと保管 (つづき)

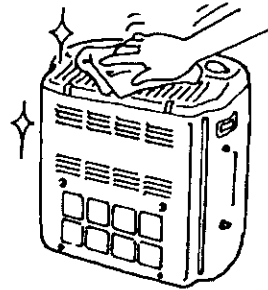
**保管のしかた** 湿気の少ないところに保管してください。

必ず本体が冷えてから保管してください。

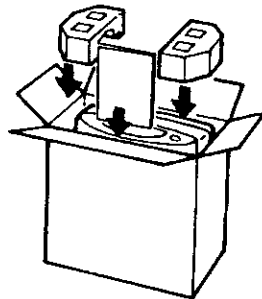
**1** タンク内の水を排水口から抜く。



**2** お手入れをする (本体・フィルターの掃除)



**3** お買いあげのときの包装箱に取扱説明書といっしょに入れる



お願い 包装箱に入れるときは、蓄熱された熱を放熱してから(暖房運転をして蓄熱量ランプが消灯している状態)保管してください。  
蓄熱されたまま包装箱に入れると本体が熱により変形する場合があります。

**仕様**

定 格	交流 100V 50-60Hz共用 1.39kW		
ヒーター	温風用ヒーター:660W×2、蓄熱用ヒーター:660W		
スチーム発生装置	加熱加湿式・タンク有効容量 約220ml、加湿能力 約30ml/h		
安全装置	転倒OFFスイッチ		
	温風用温度ヒューズ 109°C		
	蓄熱用温度ヒューズ 152°C		
	温度過昇防止器 4個		
	停電時安全装置		
	切り忘れ防止装置 (おはよう入タイマー運転…2時間、蓄熱…8時間、温風暖房…8時間)		
大 き さ	幅46×奥行21.3×高さ47.6cm	標準消費電力量 (1時間あたり) 50-60Hz	「強」 1.35kWh
コードの長さ	1.8m		「弱」 690Wh
質 量	約14.2kg		「強・スチーム」 1.39kWh
			「弱・スチーム」 730Wh

●標準消費電力量は、日本電機工業会の測定方法に基づき、室温15°Cで5時間通電したときの平均値です。

**修理サービスを依頼する前に**

次のような場合は故障ではありません。修理サービスを依頼する前に、もう一度確かめてください。

現 象	原 因
運転しない	●差込プラグがコンセントから抜けていませんか。 ●おはよう入タイマー運転、おかえり入タイマー運転になっていませんか。
少しにおいがしたり、煙が出る	●はじめて運転した場合に少しにおいがしたり、煙が出る場合がありますが、ご使用にとまらなくなります。
自動運転のとき風量や温風温度が変化する また、切換音がする	●自動運転のときは部屋の温度に応じて運転状態が切り換り、風量、温風温度が変化するとともに、運転の切換音がしますが、異常ではありません。
温風吹出時、停止時に「カシャ」という音がする	●本体内部の蓄熱部シャッターが開閉する音で、異常ではありません。
ルーバーの奥が赤く見える	●本体内部の温風ヒーターの赤熱の光が反射して見えるもので、異常ではありません。
スチームが出ない	●タンクに水がありますか。●蓄熱中またはタイマー運転中ではありませんか。また、スチームボタンを押してからスチームが出るまで数分かかります。お部屋の温度が高いとスチームが見えにくい場合があります。スチーム吹出口より約2cm上に鏡をあてて、鏡がくもれば正常です。

**こんな表示がでたら**

操作部のデジタル表示が、つぎのようになったときは、下表の処置をしてください。それでも同じ表示になるときや他の表示がでたら、表示内容を確認し差込プラグをコンセントから抜いて、お買いあげの販売店または、日立家電品のお客様ご相談窓口に表示内容を連絡しご相談ください。

表 示	原 因	処 置
E1	停電時安全装置作動 ●停電や差込プラグの抜けがあったとき。 ●電源ボタンを「入」にしてから差込プラグをコンセントに差し込んだとき。	電源ボタンを「切」にしてから「入」にする。
E2	転倒OFFスイッチ作動 ●転倒したとき。	本体を平らな床に置き、電源ボタンを「切」にしてから「入」にする。
E3	温度過昇防止装置作動 ●フィルターの目づまりや温風吹出口がふさがれ、内部温度が高くなったとき。	電源ボタンを「切」にし、差込プラグをコンセントから抜いて左記の原因をとりのぞく。本体が冷えてから、差込プラグをコンセントに差し込み「入」にする。
E4	室内温度過昇防止装置作動 ●温風吹出口や吸気口がふさがれ、内部温度が高くなったとき。室温が40°C以上のとき。	電源ボタンを「切」にして、左記の原因をとりのぞき本体が冷えてから「入」にする。

操作部に強い衝撃を加えたとき、お茶や水をこぼしたとき、差込みプラグや電源コードが手でさわれないほど熱いときは、点検をご依頼ください。2、3年を目安に、安全確保のためぜひお買いあげの販売店またはお近くの日立家電品のお客様ご相談窓口にて点検依頼されることをおすすめします。